

道の駅 季楽里あさひ グランドオープン

オープン2日間で2万8、000人が来場



道の駅季楽里あさひが、10月17日に待望のオープン。「食の郷あさひ」の魅力を広く発信します。

17日と18日は開業を記念したオープニングイベントが行われ、2日間で2万8,000人の来場者がありました。メインである直売施設「旬のとれたて市場」は、旭市が誇る新鮮野菜、豚肉、海産物、花などの地元産品を求める多くの人にぎわいました。地元の食材を使ったバイキングレストランやスムージー、ジェラート、焼きたてパンなどの店舗も出店しています。

旭市自慢の味覚が一堂に会す販売施設の営業時間は、午前9時～午後6時。年中無休で営業しています。



- ①多くの人でにぎわった農産物直売施設
- ②地元食材を使ったバイキングレストラン
- ③旭の野菜を使ったスムージー
- ④地元の牛乳を使ったジェラート
- ⑤構内で手作りされる焼きたてパン
- ⑥テープカットの様子

これからも ますますお元気に！

本年度市内で100歳を迎える高齢者13人に、国から内閣総理大臣の祝状と銀杯、市から長寿祝金が贈られました。海匠健康福祉センター長と市長らが9月30日、市内の高齢者の元を訪問。100歳を迎えたお祝いと、これからも元気で過ごしてもらえよう高齢者の皆さんを激励しました。

「これからも元気に長生きしてください」と声を掛けられると、力強くうなづく姿がありました。



内閣総理大臣からの祝状が贈られる

お年寄りの健康と長寿を祝福



お年寄りを前に子どもたちが太鼓を演奏

敬老大会が9月21日、東総文化会館、海上公民館、いいおかユートピアセンターの3会場で開催されました。各会場では、保育所やボーイスカウトなどの子どもたちが遊戯や太鼓の演奏を披露したほか、文化協会が歌謡や舞踊、フラダンスなどの芸能発表でお年寄りの健康と長寿を祝福。客席には、笑顔で拍手を送る来場者たちの姿がありました。

おめでとう！ アジア・全国大会出場

【卓球】

大会名：JOCジュニアオリンピックカップ2015
平成27年度全日本卓球選手権大会
(カデットの部)

場 所：高知県高知市
期 日：11月21日～23日



加瀬良芽くん(一中・2年)
男子シングルス



長谷川紗来さん(一中・2年)
女子シングルス

【野球】

大会名：第8回BFA(アジア野球連盟)
U-15アジア選手権

場 所：静岡県伊豆市
期 日：10月8日～12日



宮内竜志くん(飯岡中・3年)
侍ジャパン

【バレーボール】

大会名：第18回全国ヤングバレーボールクラブ
男女優勝大会

場 所：大阪府大阪市
期 日：9月21日・22日



フューチャーズ
FUTURES
U-14女子

高齢者叙勲

瑞宝双光章

(教育功労)

外口正芳さん 88歳(イ)



昭和21年に海上郡鶴巻村国民学校に奉職して以来、公立小学校長で退職されるまでの42年9か月にわたり、地域の教育、文化の発展と地方教育行政の振興に尽力されました。

9
19

看護を学ぶ学生が地域と交流



盛況のネイルアートコーナー

旭中央病院附属看護専門学校で、毎年恒例の彩花祭が開催されました。これは学校祭を通じて、地域の人と学生が触れ合いながら交流を深めようというもの。会場ではフリーマーケット、ネイルアート、華道、血圧測定、軽食の販売、マジックショーなどが行われ、多くの来場者でにぎわっていました。

旭中央病院附属看護専門学校で、毎年恒例の彩花祭が開催されました。これは学校祭を通じて、地域の人と学生が触れ合いながら交流を深めようというもの。会場ではフリーマ

9
19

高校生たちも交通安全を呼び掛ける



啓発物を配布する高校生

も参加。街頭啓発で交通安全を呼び掛けました。高校生の一人は「交通事故がなくなってほしい」と話していました。

秋の全国交通安全運動出動式が、旭警察署で行われました。この日は、一日女性警察官に委嘱されたミス七夕の3人や市内交通安全関係団体のほか、県立旭農業高校の生徒たち

9
19

卓球男子日本代表選考会が旭市で開催



スマッシュを打ち込む木造選手

表権を獲得しました。世界ジュニア卓球選手権は、11月29日(日)からフランスで開催されます。

世界ジュニア卓球選手権に出場する、男子日本代表の選考会が、9月18日～20日に総合体育館で開催。14人のリーグ戦を制し、木造勇人選手(愛知工業大学名電高校)が代

第10回あさひのまつり

11団体が出演、伝統の音色を響かせる



一緒に振られる大小のまとい

郷土芸能の祭典「あさひのまつり」が9月27日、東総文化会館で開催されました。この日は市内の11団体が出演し、地域に伝わるお囃子や踊り、神楽などが披露されました。

受け継がれてきた太鼓や笛の音色が響くホールには、お囃子に合わせて手拍子をしたり、大人の出演者に交ざってまといを振る子どもにほほ笑んだりする来場者たちの姿がありました。

幽学の里で米作り交流事業

収穫祭で秋の恵みに感謝



芋掘り体験をする参加者

「幽学の里で米作り交流事業」の収穫祭が10月3日、大原幽学遺跡史跡公園で行われました。参加者は、芋掘りや餅つきなどを通して地元と交流。芋掘りを体験した参加者は「土を掘って芋を取り出すのはすごく大変。感謝して食べなければ」と話していました。

地元ボランティアの指導の下、臼ときねを使った餅つきを体験し、昼食でつくたての餅が振る舞われると、笑顔で頬張る子どもたちの姿がありました。